

各 位

2025年3月7日

SBIトレーサビリティ株式会社

「あべ」醸造元・阿部酒造、「にいがた酒の陣 2025」にて
NFC タグ×ブロックチェーン技術でファン向けに特別な体験価値を提供

開封後にのみ、6代目蔵元・阿部 裕太からの特別なメッセージ動画へのアクセスが可能に。

SBIトレーサビリティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：輪島 智仁）は、ブロックチェーン×IoT（NFCタグ）の技術融合により現物資産とデジタル情報の強固な紐付けを可能とするトレーサビリティ・サービス「SHIMENAWA（しめなわ）」（以下「SHIMENAWA（しめなわ）」）が日本酒「あべ」醸造元・阿部酒造株式会社（本社：新潟県柏崎市、6代目蔵元：阿部 裕太、以下「阿部酒造」）で導入されたことのお知らせいたします。



「SHIMENAWA（しめなわ）」先行導入商品：「あべ 純米大吟醸酒 Firstclass2023（一年熟成・酒の陣限定）」
アルコール度数14%の純米大吟醸の直汲タイプである「Firstclass」を今回に限り、1年間氷温で熟成させたことにより、
おりがらみ由来の丸みが倍増！フルーティーさと米の旨みを楽しめる超限定酒となります。

2025年3月8日・9日に新潟市で開催される「にいがた酒の陣 2025」で販売される「あべ 純米大吟醸酒 Firstclass2023（一年熟成・酒の陣限定）」に先行導入されます。

新潟県柏崎の一角に佇む白を基調とした、まるでお米の輝きを詰め込んだような酒蔵で、阿部酒造の日本酒は醸されます。6代目蔵元の阿部 裕太は真に家業の日本酒を愛し、強い思いから6代目としての酒造りをスタートさせ、従来の固定観念にとらわれない作り方で、発想豊かな改革を進めてきました。白さ際立つお米の一粒一粒の「発酵を楽しむ」、蔵の理念をも感じ取れる建物の外観と、地元新潟県産の酒米にこだわった阿部酒造の代表銘柄である「あべ」シリーズは、その象徴とも言えるでしょう。まずは「圧倒的にうまい」日本酒を創るという造り手の思いがあり、思いを乗せた手で楽しんで醸される日本酒が形となり、飲む人の手に渡る時、そこに最高の日本酒を楽しむ気持ちの連鎖が生まれるのです。発酵から絞り取る最後の一滴まで、さらには瓶の形や名付けなど、細部までこだわった逸品が、阿部酒造の日本酒として日の目を浴びます。

にいがた酒の陣2025で販売される「あべ 純米大吟醸酒 Firstclass2023（一年熟成・酒の陣限定）」も、まず造り手はその工程を楽しむところから始まり、限定品シリアルは何番が受け取れるのかをワクワクと待っているファンの手元に届き、「うまい！」と喉を震わせる、特別な日本酒です。

「SHIMENAWA（しめなわ）」は、阿部酒造のこだわりをぎゅっと詰め込み、手に取ったファンにさらに素敵な思い出を残す役割を担います。購入後のアクセスにより、限定48本の購入者は6代目蔵元・阿部 裕太からの日本酒を楽しむファンに向けた感謝のメッセージ動画を受け取り、中でもさらに特別な1本を購入された方には、追加の特権であるプレゼントの受け取り主であることも明かされます。誰もがうまいと感じる日本酒の味わいを追求する蔵元の気持ちと合わせて、直接蔵元から送られるメッセージがあることで、より阿部酒造の日本酒に愛着を持ってもらえ、阿部酒造の想いと一緒に、日本酒を楽しめる仕掛けとなっています。



創業当時の酒造りの手法を継承しながらも新しい発想やチャレンジ精神を持って酒造りをしている
阿部酒造の蔵人（6代目蔵元・阿部裕太氏：後方左から2人目）



日本酒を購入し、開封した後にスマートフォンでNFCタグにタッチすると「SHIMENAWA（しめなわ）」では開封された情報がブロックチェーンに記録され、アプリトップ画面で「開封済」が証明されます

なお、「SHIMENAWA（しめなわ）」には、大切な日本酒のブランドを保護する以下の基本機能が備わっています。

1 真贋証明機能

商品（現物資産）ひとつ一つにセットされる NFC タグに記録されている固有 ID と、ブロックチェーン上に改ざんができない状態で記録される“いつ”、“どこで”、“誰が醸造した日本酒”かのデジタル情報が強固に紐付けされることで、その日本酒の醸造元の酒造会社を証明します。

2 開封検知機能

食の安全性担保の観点から、日本酒が未開封であること、“いま、自分が開けた瞬間”をエンターテイメントのような仕掛けで地図上にて証明することができます。また、この機能では、その銘柄が“いつごろ”、“どこで”、“開けられた（消費された）”などのデータも取得することができ、酒造会社はインテリジェンスな経営にそれらデータを活用できます。

3 正規品管理機能（出荷先情報の紐付け）

酒造会社で NFC タグにより日本酒ひとつ一つに付された固有 ID に出荷先情報を紐付けし、データベースで管理することができます。これにより不正な横流しの抑止効果が働くと共に、不正に横流しされた日本酒の出どころの傾向を把握し、特約店管理に活かすこともできます。

4 ファンマーケティング機能

日本酒を購入し、開封（購入）登録後にだけ特別な画面が表示され、限定（非公開）サイトへの誘導や NFT（Non-fungible token）を受け取れる機能で顧客ロイヤリティ向上などの取組みを進めることが可能となっています。

5 デザイン・コンテンツ管理機能 <新機能>

2025 年 3 月より新機能として、「SHIMENAWA（しめなわ）」アプリの画面デザイン（ロゴ・カラーや表示文言）及びコンテンツを利用企業がオリジナルで作成・変更・更新、管理することができる機能が実装されました。これにより自社ブランドでより統一感を持った表現が可能となっています。

- ※1 「ブロックチェーン」とは、電子署名とハッシュポイントという耐改ざん性のあるデータ構造を利用し、データの変更履歴をネットワーク上で共有することで、価値の保存を可能とした技術をいい、物理的資産の真正性や品質証明を取引者間で行うことで、信頼性の高いエンド・ツー・エンドのトレーサビリティの実現を可能とします。
- ※2 「NFC タグ」とは、物理的資産に固有 ID を付すことができ、かつ、ブロックチェーンに記録されたその資産にかかる重要な情報と強固に紐付けする際に機能する HF 帯（近距離無線通信）の NFC（Near field communication）タグ技術で、クレジットカードやマイナンバーカードなどでも使用されています。
- ※3 「NFT」とは、Non-fungible token の頭文字をとった略称で、和訳では「非代替性トークン」と呼ばれ、ブロックチェーン上に記録される一意で代替不可能なデータ単位をいいます。NFT を活用することで、特定のデジタル資産や現物資産、およびその資産を特定目的で使用するためのライセンスや権利などに関連づけることができます。
- ※4 「SHIMENAWA(しめなわ)」では、株式会社 Uni Tag（本社：東京都中央区、代表取締役社長：半野 巧也）と共同開発したロゴ入り専用 NFC タグを採用しています。

【会社概要】

■ 阿部酒造株式会社について

所在地	製造部：新潟県柏崎市安田 3560
代表者	代表取締役社長 阿部 庄一（5 代目） / 製造責任者 阿部 裕太（6 代目）
代表銘柄	あべ
酒造概要	<p>新潟県中越エリアの人口約 8 万人の街。海と山に恵まれたミネラル豊富な「上輪新田」人と田んぼが共存する「安田鳥越」「赤田」、水と風に恵まれた「野田」と、非常に景色が豊かな街です。</p> <p>お酒の香りや味に捉われず、知的好奇心から様々な酒造りを行うことが阿部酒造の特徴。現在、6 代目の阿部裕太が醸す酒は「米のうまみ」と「酸」にフォーカスした酒が多くなっています。</p> <p>阿部酒造では 4 つの製造の方針を掲げて酒をしています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リストランテの最初から最後まで 2. 常に発酵を楽しむ(Enjoy!!) 3. "圧倒的に"うまいを目指す 4. 常に挑戦者であれ
URL	https://www.abeshuzo.com/

名称	SBI トレーサビリティ株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー
代表者	代表取締役 輪島 智仁
事業内容	ブロックチェーンを活用したトレーサビリティ・サービスの提供など
URL	https://www.sbitraceability.co.jp/

名称	株式会社 Uni Tag
所在地	東京都中央区日本橋本町 4 丁目 11 番 2 号 (KISCO 株式会社 東京本社内)
代表者	代表取締役社長 半野 巧也
事業内容	RFID の設計・開発・製造・販売及び技術サービスを含めたコンサルティング
URL	https://www.unitag.co.jp/

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI トレーサビリティ株式会社 contact-ta@sbigroup.co.jp